

天文市民科学をめぐるシンポジウム・展示等のご案内

大西拓一郎

信州そして諏訪の天文市民科学文化をめぐるシンポジウムを開催します。

<https://shiminkagaku-pj.org/symposium/symposium-10/>

シンポジウム：「長野県は宇宙県」の天文学史 100 年と市民科学

日時：2022 年 11 月 18 日（金）

会場：諏訪市駅前交流テラスすわっチャオ（JR 中央本線、上諏訪駅東口駅前）

プログラム

10：00-10：30 プロジェクトの紹介

「シンポジウムの主旨説明」大西拓一郎（国立国語研究所）

「長野県は宇宙県」大西浩次（長野工業高等専門学校）

「天文文化研究会活動紹介」陶山徹（長野市立博物館）

10：30-12：00 長野県の天文学史と市民科学

「諏訪天文同好会の活動の変遷」茅野勝彦（諏訪天文同好会）

「茅野市八ヶ岳総合博物館アマチュア天文学史資料の紹介」渡辺真由子（茅野市八ヶ岳総合博物館）

「市民科学（シチズンサイエンス）という新たな意義付け—諏訪清陵高校天文気象部を例として—」野澤聡（獨協大学）

「会誌から見たアマチュア天文同好会の活動—大阪市立科学館の所蔵資料から—」嘉数次人（大阪市立科学館）

12：00-13：00 休憩

13：00-14：45 変光星観測

「諏訪天文同好会の変光星観測」大西拓一郎（国立国語研究所）

「日本のアマチュアによる変光星観測」渡辺誠（射水市新湊博物館）

「日本における変光星についてのプロとアマチュアの共同研究」野上大作（京都大学）

14：45-15：00 休憩

15：00-16：45 太陽観測（司会：陶山）

「黒点数再校正と信州黒点観測記録群」早川尚志（名古屋大学）

「長野県における近代太陽観測の歴史」日江井榮二郎（国立天文台）

「太陽の長期変動と地球環境」桜井隆（国立天文台）

16：45-17：00 議論と総括

この 4 月（2022 年 4 月）から「市民科学」をめぐるプロジェクトを立ち上げています。

<https://shiminkagaku-pj.org/>

学術はアカデミアのみで成り立つものではなく、市井の人々の自主的な活動に支えられてきた側面があり、これは多くの学術分野で確認されます。そのような市民科学の歴史と展開について、とくに顕著な事例が多くとらえられ、かつ長い歴史を持つ長野県を中心に考察するプロジェクトです。

対象とする分野は天文学、地学、地理学、方言学、民俗学など文理を問わず多岐にわたりますが、今年度（2022年度）は諏訪天文同好会の設立100周年を糸口として、天文をめぐる市民科学について考えます。そして、そのためにシンポジウム、博物館展示、講演会を開催します。

シンポジウムの参加は申し込み制です（参加費無料）。対面とオンラインの併用で実施します。なお、当日の様子は録画の上、公開しますのでご承知置き願います。参加を希望される方は上記のシンポジウムのページからお申し込みください。

シンポジウムに先立ち、11月1日（火）から、諏訪市のとなり、茅野市八ヶ岳総合博物館で「信州天文文化100年」という展示も開催されます。期日は2024年1月15日までですが、その後2月4日から長野市博物館で巡回展を行います。八ヶ岳総合博物館には五味一明氏、佐久間精一氏の貴重な変光星ならびに天文関係資料が収蔵されており、今回その一部も展示される予定です。シンポジウムに合わせて、ぜひお立ち寄りください。

さらにシンポジウムの翌日には「宇宙飛行士と天文学者に聞く 星空・宇宙の魅力」という講演会もあります。こちらでは宇宙飛行士の土井隆雄氏と国立天文台の山岡均氏のお話をうかがうことができます。

いずれも最新情報は上記プロジェクトのサイトからご確認ください。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

2022年10月